

令和3年度（2021年度）

金沢大学法科大学院

入学試験問題

商 法

C日程入試

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は2枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。
5. 解答にあたっては、どの問題から解答しても構いません。ただし、どの問題についての解答であるのかを答案中に明示してください。

令和3年度（2021年度）金沢大学法科大学院入学試験問題

試験科目	商	法
------	---	---

以下の問題に解答せよ。

問題1（15点）

甲株式会社（取締役会設置会社）の代表取締役Aは、自身の自宅建設費用のための乙銀行からの借入債務（4500万円）について、甲社代表者として債務引受を行った。しかしながら、当該債務引受は甲株式会社の取締役会の承認決議を経ていない。

乙銀行による甲株式会社に対する上記借入債務相当額の支払請求は認められるか、甲社からの反論を想定し、判例に言及した上で検討せよ。

問題2（10点）

株式会社P社が、株式会社Q社を1：1の割合で吸収合併をすることとした。P社株主Xは、この合併比率は不適切で1：5とするべきと考えていた。このようなXが合併比率の不公正を理由としたPQ社間の合併無効確認請求訴訟を提起した場合、その請求が認められるか、裁判例に言及した上で、検討せよ。ただし、原告適格や期間制限などの訴訟要件を検討する必要はない。